

12月 おおとみ

大富小学校便り

〒289-1344 山武市新泉ト 60

Tel 0475-82-2806

Fax 0475-82-3602

～師走到来、丑年の総まとめを～

いよいよ12月。緊急事態宣言の中で始まった2学期も、残すところ3週間余りとなりました。丑は「粘り強さ、誠実」、寅は「決断力と才知」の象徴だそうです。粘り強くコロナを乗り越え、新年が決断力と才知をもって大きく飛躍する年となるよう、丑年最後の月を充実させ、希望に満ちた寅年を迎えられるようにしたいものです。

さて、感染症に留意しながら実施してきた2学期の様々な行事も、残りわずかとなりました。マラソン納会では、これまでの練習の成果を発揮して、それぞれのベストを尽くしてほしいと思います。頑張った後には、PTA主催のお楽しみ会があります。お子さんの健康管理にご留意いただき、全児童が揃って互いの健闘をたたえ合い達成感を共有できるよう、励ましの声掛けをお願いします。

<12月の主な行事予定>

月/日	曜	行	事
12/3	金	マラソン納会(10:10～) 予備日:6日(月) PTA主催お楽しみ会(13:45～) 集団下校	学級懇談会(14:45～)
6	月	集金日 計算グランプリ 集団下校	
7	火	航空講話(4～6年)	
8	水	大富っ子集会	
10	金	学校評価アンケート配付(回収～17日)	
13	月	漢字グランプリ イングリッシュイベント	
17	金	1・2年校外学習(成田ゆめ牧場) クラブ活動(6校時:4～6年)	
20	月	ピカピカ週間(～24日)	
21	火	地区児童会	
23	木	給食最終日 PTA広報「おおぞら」発行日	
24	金	終業式 集団下校	
25	土	冬季休業(～1/5)	

マラソン納会時の駐車場について

新泉公民館奥の私有地(新泉区 内山様所有)を臨時駐車場として借用しました。案内係は配置しません。自己責任でご利用ください。

マラソンコースに隣接していますので、競技開始前の午前10時までに入庫を完了し、出庫は競技終了後をお願いします。

路上駐車および近隣寺社等への無断駐車は絶対に行わないでください。

11月20日 第2回資源回収実施

保護者・地域の皆様のご協力により、事故なく作業を完了することができました。資源の売り上げと市の奨励金を合計した収益は、82,350円でした。今回、試験的に行ったアルミ缶の回収は、次回も継続します。資源回収実施日前でも学校の資源回収倉庫で保管可能です。中を軽くゆすぎ、つぶしてからビニル袋等に入れ、学校まで届けてください。

11月16日 山武市小学校球技大会 接戦を制し、ブロック優勝(男子)

緊急事態宣言の関係で延期となっていた球技大会が11月16日に実施されました。種目は今年度で4年目となったソフトバレーボールです。大富小学校は、大富小、緑海小、大平小、蓮沼小、睦岡小の5校によるBブロックに参加しました。

女子 1回戦 ×大富 1-2 緑海○
敗者戦 ×大富 0-2 蓮沼○

男子 2回戦 ○大富 2-1 大平×
決勝戦 ○大富 2-1 緑海×

※ 運動部以外の5・6年生も、競技役員として頑張りました。



感染症に留意しながらの校外学習・体験活動（2学期の教育活動から）



9/13 5年 稲刈り



10/7 3年 イチゴ苗植え



10/15 1・2年 さんぶの森



10/21・22 5年 宿泊体験学習



10/28・29 6年 修学旅行



11/17 3～6年 書き初め講習会

11月16日 地域の方を招いて給食試食会実施

日頃、子ども達が体験学習や登下校時の安全確保でお世話になっている方々をお招きし、給食試食会を実施しました。学校評議員、社会福祉推進員、見守り隊、米作りやイチゴ栽培の先生等、25名の皆さんに参加していただきました。

大富小の給食指導や食育についての説明に続き、自分たちで盛り付けをして試食となりました。献立は、サフランライス・シーフードソースかけ、ポテトミートグラタン、こんにゃくサラダ、牛乳でした。

コロナ禍での会食ですので、参加した方々には検温と手指消毒、十分な間隔と同一方向を向いての黙食にご協力いただきました。食後のアンケートでは、試食した感想やご自身の給食の思い出話などをお寄せいただきました。また、大富小の日頃の給食指導の様子について、もっと情報発信してほしいとの声もありましたので、11月の各学年の様子を紹介します。



学年	11月の取り組み・成果	課題
1年	「肉や魚は自分の体の血や肉になる。」ことや、「ご飯は体を動かすエネルギーになる。」という話をしたところ、頑張って食べようとする児童が増えた。	野菜など苦手なものを頑なに食べようとしない児童がいる。一口でも食べられるようにしたい。
2年	食事開始前に食べられる量やバランスを考えて盛り付けるようにした。苦手なものにチャレンジした児童をほめる声掛けをした。	苦手なものを減らしても、「時間内に食べられなかった。」と言って一口も食べない児童もいる。
3年	自分で量を調節することで、完食できるように声掛けをした。苦手なものでも少しは食べようとするので、一口も食べないということはなくなった。	苦手なものでも少しは食べようという雰囲気になったが、食の細い児童は十分な量が摂取できていない。
4年	盛り付けた分は完食するよう声掛けをしているが、平気で残す児童がいる。また、朝食を食べないなど、食生活の乱れを改善するよう声掛けをしているが、なかなか改善に向かわない児童もいる。	量を減らしているのに食べきれない児童と、何度もお代わりをしている児童の両極化が見られる。女子に少食の児童が多い。
5年	社会科で「食料廃棄」について学習したところ、一人ひとりが残飯をなくそうと意識するようになった。1学期は野菜や汁物の残量が多かったが、11月は毎日食缶を空にすることができた。	業間にマラソン練習が始まったことが食欲増進につながった。今後も継続的に運動に取り組むよう声掛けを行っていく。
6年	黙食を意識し、完食を目指して食べている。食べられる児童が進んで増やしているので、残飯も少ない。苦手なものでも少しは食べようという意識は、低学年の頃から育ててきた。現在はほぼ毎日完食している。	好き嫌いが多い児童が数名いる。また、献立によって残飯の多い日がある。家庭での食生活が大きくかわっていると感じる。